

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 マニュアルを作成し、身体拘束廃止検討委員会を設置し廃止について年1回検討しているが、転倒などが怖くて廃止出来ないで居る。また、近くに危険箇所があり玄関施錠をしている。	身体拘束をしないケアをめざしたい。	認知症の利用者は特に外に出たがるが、抑制するのではなく職員が付き添いながら、散歩や買い物に行くようにして欲求に応えていくとともに、地域住民の協力をもらうようにしたい。また、廃止検討委員会を3ヶ月～4ヶ月に1回開催して、拘束のない介護のあり方を模索していく。	3ヶ月
2	11	○運営に関する職員意見の反映 運営に関する職員の意見や提案を聞く機会少ない。また職員から意見、提案が出てこない。	ケアに対する方針や運営内容について職員同士で意見交換の機会を多くする。会社の代表者と真摯に向き合って運営内容について話し合う機会を設ける。	施設長、管理者、職員で運営内容について、率直に意見を出し合える機会を年1回～3回設ける。また、職員の研修計画を年度当初に立てるとともに、研修に参加した職員はミーティング時等に研修の要点、感じたことをみんなに発表するよう習慣づける。	3ヶ月
3	13	○災害対策 施設裏手の河川の氾濫による水害が心配される。これまで水害を想定した訓練は実施してこなかった。気候の変動による集中豪雨が予想される。スプリンクラーが未設置である。	年2回の消防避難訓練のほか、地震や水害を想定した避難訓練を実施する。	集中豪雨が予想される7月～8月期に水害を想定した避難訓練を行う。また、今年度中に予定しているスプリンクラー工事に合わせて避難経路の整備を行う。	6ヶ月
4	4	○運営推進会議を活かした取り組み ふくし苑内では会議する場所がないので、推進会議の開催場所を公民館で行っているため委員からは施設内をみてもらう機会がない。	委員から施設内を見てもらう機会を設けて、問題点、改善点などについて意見等をもらうようにしたい。	推進会議開催のとき、あるいは夏祭り、敬老式などの行事に招待するなどあらゆる機会に施設に来てもらって委員の目で直接利用者の様子を把握してもらうようにしたい。	12ヶ月

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
5	52	○居心地のよい共用空間づくり 既存の建物を改築したものであり、全体的に狭い、トイレも狭くプライバシーに問題がある。	全体的に狭いが職員、利用者、設計士等の意見を聞いて居心地のよい空間づくりに努めたい。	トイレはカーテンで仕切られているためプライバシー保護から見て問題であるので、工務店とも相談して扉の設置が可能か検討したい。	12 ヶ月
6	2	○事業所と地域とのつきあい 地域とのつきあいは、推進委員である地域総代を通じて行事等に参加し交流を深めているが、ふくし苑からの要望、参加が主である。	事業所として地域に何が貢献できるか模索していきたい。	運営推進委員、地区芸文協代表との懇談の場をつくって、事業所として何が貢献できるか意見等を聞きたい。	12 ヶ月